

# いきいき業者婦人



# いどばた

## 第41回総会 No.13

(発行) 静岡市駿河区泉町 7-12-8 松山ビル 2F  
Tel.054-283-8885 Fax.054-286-5263  
静岡商連婦人部協議会

### 全婦協第31回定期総会 岐阜市で開催 静岡から代議員10人が参加、7婦人部が表彰される

10月22、23日の2日間、岐阜市で全婦協第31回総会が開催されました。全国から347人、静岡県からも10人の代議員が参加しました。1日目は全体会で各県の代表が前総会から2年間の取り組みを発言、2日目は分散会に参加者一人ひとりがこの間の活動と、婦人部に対する思いを語り合いました。2日目、分散会後の全体会では総会方針案、予算案など全て賛成多数で承認され、新体制の全婦協がスタートしました。

### 国を動かそうと迫る

#### 業者婦人の運動



到着すると、受付は既に全国から駆け付けた業者婦人で大混雑、受付を終え会場に入ると、前日21日に開かれた全婦協常任幹事会から参加している川島文江県婦協会長が、みんなの分の席を確保して迎えてくれました。

総会が開会し、全婦協会長あいさつで、大石邦子さんは「今日の総会までに474自治体が56条廃止の意見書採択をした。私たちの運動が国連女性差別撤廃委員会を動かし、国を動かすまでに迫っている。仲間を増やそうと今この瞬間も地元で頑張っている仲間と共に、この歩みを止めずに頑張ろう」と呼びかけ、全商連・太田義郎会長は「女性のお喋りには真実が宿る。様々な言葉の端々にちゃんと政治への不信などが詰まっている。貴重な言葉の端々を集め、政治や行政に訴えていく、この姿勢を忘れずにいてほしい」と業者婦人の力を称え激励しました。

静岡県からの代議員10人は揃って新幹線で岐阜に向かいました。新幹線の中ではお互いの婦人部での活動や商売の話などで盛り上がり、名古屋まではあつと言の間、名古屋から在来線に乗り換え岐阜市に到着しました。会場の岐阜グランドホテルに

### 全国どこでも業者婦人は やっぱり強い!

9県の代表が全体会発言をしました。発言されたどの方も、全総会からの2年間の活動を堂々と語り、婦人部だけでなく民商全体、県連全体を引っ張るぐらいの勢いを感じさせました。愛知県婦協では全県で共済会と連携した乳がん検診を実施、県内の自動車修理業の会員のところに検診車が車検に入ったところから、初めはほとんど拍子に話が進んだこと、そしてこの検診で2人が乳がん発見に至ったそうで、「この検診が無ければ長期の治療や、最悪な結果もあつたかもしれない」と、全ての民商に呼びかけたことが全県の受診に結びついたことが語られ最後に「全国の仲間を受診してほしい」と呼びかけられました。

京都の代表の方は消費税について発言されました。8%への増税前にNHKから取材依頼が来たため、屋根裏に上り3%から5%になったときの帳面や申告書を確認すると、当時はまだ景気が良かったのに売上はハッキリと半減していたことを確認し、いざ撮影の時「職人さんの仕事は激減し、みんな早朝や深夜のアルバイトまでしても納税できず自殺してしまつた人もいます。消費税は殺人税です」とテレビカメラの前できっぱり訴えたが、2日間も取材したのに放

送されたのはたったの2分、それも自分の出演部分は全てカットされていたとのこと。テンポのよい話しぶりに会場からは笑いが起こりましたが、最後に「このままでは伝統産業がなくなる。もう我慢の限界、いまこそ民商婦人部が力を合わせ声をあげて増税中止に追い込もう」と呼びかけると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

### 川島県婦協会長 静岡の56条一斉請願の取り組みを堂々と発言「みんなに支えられている」

川島文江県婦協会長も堂々と代表発言しました。内容は今年県婦協で取りくんた、56条一斉請願(陳情)と県経済産業部との懇談の内容について。全県的に婦人部を担当する女性事務局員が減少する中、県婦協幹事や民商婦人部役員が中心になって、学習会を行い会派回りや議員懇談をし、ほぼ全県で請願書もしくは陳情書を提出することができ、さらには三島民商婦人部の嫌がられても粘り強く、町会議員の自宅訪問を続けたことで、函南町が意見書採択したことを報告、県との懇談では参加者それぞれが自分の言葉で、自治体議員の中小零細業者に対する態度や、県の振興基本条例の、特に個人事業者の家族の働き方、後継者づくりに対する要望を訴えたことを語りました。さらに川島会長はこれらの経験から「県婦協幹事会では、これまで事務局が作る文章を読むだけだった人も自分の言葉で話すようになった。確実に経験が業者婦人をさらに強くしている。私は会長であっても一番若く経験も浅いが、みんなに支えられていると強く実感している」と語り、会場から大きな拍手が贈られました。



2日目、静岡の代議員が分散会で「静岡の若い会長の発言がとても元気があり良かった、希望が持てる」と声を掛けられました。



### 代議員全員が静岡の取り組み、それぞれの婦人部の活動を発言

2日目午前に行われた分散会では、代議員それぞれが静岡県婦協の取り組みや自らの婦人部活動を語りました。全国の代議員から「婦人部の役員づくり」についての悩みが多く出されました。静岡県全体も他人ごとではなく、他県の取り組みを参考に今後の役員づくりを考えなければなりません。

ただ、やはり活動を知らせ、婦人部を身近に感じてもらうことの重要性も出され、静岡県婦協ニュースの継続的な発行は評価されました。全国の婦人部でも事務局員の減少

#### 全婦協第31回総会

##### 静岡県からの新役員

全婦協常任幹事

川島文江（県婦協会長・清水）

全婦協幹事

植田真弓（県婦協副会長・小笠掛川）

岡本千代美（県婦協副会長・静岡）

#### 総会表彰

新たに会員比9割達成した婦人部

三島民商、富士宮民商

新たに会員比8割達成した婦人部

磐田民商

新たに会員比7割達成した婦人部

清水民商

全総会時より会員比9割を維持

浜松民商

全総会時より5%以上の増勢

沼津民商、藤枝民商

などで、ニュースの発行が困難になり、活動を広めることが不十分になっているように、ほんの一言の小さなニュースでも発信していくことの大切さが改めて確認されました。

#### 大石邦子さん

#### 全婦協会長10年間、本当にお疲れさまでした

2日目全体会では総会方針（案）、決算予算（案）は賛成多数で採択されました。新役員は全会一致で採択され、大石邦子県婦協副会長は、今総会で全婦協会長を退任されました。

大石邦子さんが全婦協会長に就任されたのは、2006年の全婦協第26回総会、この10年間、全商連常任理事を兼任されながら全国各地の婦人部を回り婦人部活動の意義や56条の問題を訴えました。退任あ



ヨークの国連本部で開かれた国連女性差別撤廃委員会の傍聴に参加し、委員に所得税法第56条の問題をアピールしたこと、業者婦人だから経験できた貴重な経験がとても印象に残っています。長い業者婦人の頑張り、所得税法見直しの勧告にたどり着くなど確実に運動は前進している。これからも共に頑張りましょう」と話されました。

国内外問わずたいへん忙しい10年間、本当にお疲れさまでした。大石副会長は「さあ、これからは地元で頑張っていくわよ」と元気に語っています。

#### 総会代議員の感想

##### 三島 小野寺勇子さん

秋田民商の方が、いま乳がんの治療中と語っていました。病気をしているようには感じないくらい明るく元気なことが印象的でした。元気でなければ仕事はできない、改めて検診の大切さを感じました。

##### 富士宮 柏木義江さん

どの民商の活動を聞いても勉強し行動することが大切、沖繩の現状と大変さがよく分かりました。沖繩の仲間の強さ、団結があれば強くなれると感じました。

##### 静岡 深澤みどりさん

分散会で各県の皆さんの発言を聞いて、どこも会員、役員の高齢化で協力してくれる役員がわずかに



浜松・杉本正枝さんが不在でした申し訳ありません (T\_T)

活動に取り組んでいこうと思いましたが。

##### 島田 中尾秀子さん

初めての参加でした。1日目の代用発言で静岡の川島会長の発言で、私たちのこの間の活動を全国の仲間へ伝えてくれ、感動し涙が出ました。分散会では富山議会の領収証問題の発言があり、当の本人が次回の選挙にまた立候補するとのこと、とても驚きました。また、全国どこでも拡大や事務局体制など同じ悩みを持っていることが分かり、いろいろ考えさせられました。

##### 小笠掛川 渡辺ほみさん

少ない年金から介護保険や消費税を引かれ、ささやかな金額を見て出るのはため息ばかりです。家電も大型店に押され小物が売れなくなり、商売をいつ辞めてもいいという気持ちもあり、昔のような顧客訪問もなくなっています。分散会では今でも一軒一軒訪問するというお話もあり感心致しました。部員拡大では7〜8人がグループに分かれ訪問しているという話から、『電話かけのグループもあると良いよ』と教えてもらいました。石川県の人もいて、娘が金沢にいると話したら『富士山が見られていいわね』と、お互いいつでも遊びに来てくださいます話しながら名刺交換もできました。

##### 藤枝 鴨田享子さん

今までは所属している民商の婦人部長の話や聞くぐらいがほとんどで、総会ではいろいろな方の話を聞き、自分は婦人部の活動に何も参加していなかったんだと思いました。これからはもう少し真剣に、婦人部

※ 続きは次号で紹介いたします